

受付番号： 2018-1-435

課題名：Triple negative 乳癌における Androgen receptor の splice variant の役割についての検討

1. 研究の対象

東北大学病院にて 1989 年 1 月～2013 年 5 月に外科的乳腺切除が行われた症例。

2. 研究期間

研究期間：2018 年 10 月（倫理委員会承認後）～2020 年 4 月

3. 研究目的

近年、乳癌に対する治療が発達している一方で、ホルモン受容体や遺伝子変異を有さない TNBC 乳癌に対する治療はいまだ限られており、悪性度の高さから予後の点で厳しい状況が続いている。唯一の標的治療として AR を標的とした治療薬があり、その治療効果予測を探索することは TNBC 患者の治療の発展に大きく貢献できるものと考え

る。
本研究の目的は、コホート研究により AR に最も代表的と報告された V-7 splicing variant (AR-V7) が、乳癌患者の生存率に影響するかどうか、また AR 標的治療薬の効果予測関連転写因子の働きに作用しているかどうかについて検討することである。

4. 研究方法

乳癌の病理組織標本を用い、AR、AR-V7、FOXA1 の他、AR 周辺因子の発現を免疫組織化学にて検討する。免疫組織化学の染色の評価は数値化にて行い、各因子間の相関、各種臨床病理学的因子（予後、再発、ステージ、TNM など）との相関についてそれぞれ統計学的解析を行う。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、進行期、生存期間、無再発期間 等

試料：病理組織標本

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織

研究機関:東北大学

研究責任者:笹野公伸(医学系研究科 病理診断学分野 教授)

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先

マクナマラ キーリー

東北大学大学院医学系研究科病理診断学分野

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1

TEL : 022-717-8050

研究責任者 :

東北大学大学院医学系研究科病理診断学分野 笹野 公伸

研究代表者 :

東北大学大学院医学系研究科病理診断学分野 マクナマラ キーリー

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先 : 「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合